

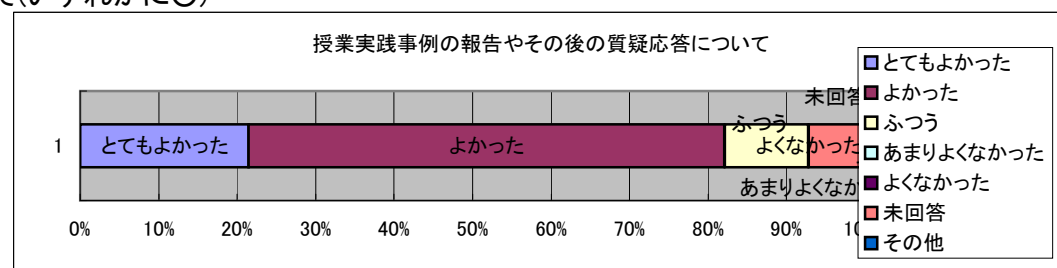
「大学授業研究会」アンケート(第3回 11月4日)

1. 音楽 永島 茜 先生 2. 健康 松本 裕史 先生 3. 食物 林 宏一 先生

参加人数	50
アンケート回収枚数	28
アンケート回収率	56%

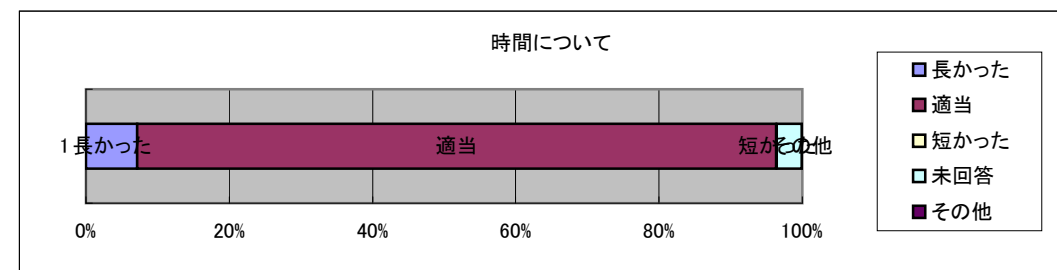
1. 授業実践事例の報告やその後の質疑応答について(いずれかに○)

とてもよかった	6
よかった	17
ふつう	3
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
未回答	2
その他	0



2. 時間について(いずれかに○)

長かった	2
適当	25
短かった	0
未回答	1
その他	0



3. 自由記述コメント(抜粋) 24件

ENERGY CHIME、CUSHON BALL 早速購入したいと思います。
教えられることが、たくさんあった。私も真似してやってみようと思うことがたくさんあった。非常に参考になった。より良い授業をするために、今日の話は3人とも有意義であった。
各先生方のさまざまな工夫にあらためて心を打たれました。 私自身も同じ方向を目指していることは相違ないのですが、表現方法、伝え方の未熟さを痛感しました。 とても良いヒントを頂きました。ありがとうございました。
小道具を使うなど(エナジーチャイム、クッシュボール)、メリハリのある授業で楽しそうに展開されているのを目指したいと思います。
* 永島先生の授業サイズならばとくに私語が問題になることはないだろうし、双方向の工夫もしやすいだろうと思うので、講義科目としてはうらやましいと感じる。 * 松本先生の「活気のある」「元気が出る」授業は、とても参考になる内容であった。ぜひ取り入れていきたいと思う。 * 林先生の「だまっている」学生が悪影響を与えることが、私語と同じだという指摘はなるほどと思う。参加させる工夫をもっと聞きたかった。

先生方の御経験をお聞きし、明日の授業から実践させていただこうと思えるヒントがたくさんありました。その中でも「授業は笑顔で！」は、思わず反省したことです。日々の多忙な中で、気がついたら笑顔が減っていたことに今日気がつきました。授業の活性化のためには、まず教員が元気(特に心が)であることがとても大切です。自らのエネルギーを減らすような心の状態であったのではと反省したしいです。明日から笑顔をキープして授業をしてみます！	
・どの報告者も時間を厳守して下さったので、とても集中して聞けた。 ・聞く側の問題として、長時間携帯電話をいじっていたり、PC上で関係のない仕事をしている先生等がいる。ただ出席しているだけのように見え、少し残念に感じた。	
永島先生	17名の授業では、そもそも私語の問題は大きくないのではないのでしょうか。
松本先生	ご自身のキャラクターと学生の性格やレベルの合わせた面白い授業をされていることがよくわかりました。なかなかまねはできませんが。
林先生	1つの事例として、こんな授業もあるのかと勉強になりました。
松本裕史先生のお話は非常に興味がわきました。また、よい授業をされている先生の授業にも積極的に参加されて、よい点を自分の授業で反映・応用されていることに感銘しました。	
永島氏の御報告内容は、ほぼ私も実施していることでしたので納得できました。ただし、受講者人数が6～10倍ですので、効果は少なく労は多いという印象です。	
松本氏の「活気のある」授業でメリハリの3点は実施している。「集中できる」については、名前を覚えることは実施しているが、座席指定と書き込みは、本学科の学生の教育目的のために行っていない。「上機嫌」での期間巡視や注意をおこなっていることはあるが小道具はユニークである。	
林宏一氏のいわれるように私語はないが「だまっている」反応のない学生の授業もやりにくいものである	
前のFDの内容が活かされていて、FDの連続性を感じることができた。	
松本先生の報告がテーマに沿っていたと思う。	
事前の教授会が長かったため、少しくたびれました。…	
学生指導のつごうで中途退室させていただきました。	
とても参考になった。	
・個性的な意見が聞け、大変ためになりました。 ・講義、実習と各々の内容が有り、良かった。	
3先生ともどの様な授業をしたいのかビジョンがはっきりしていて、発表もわかりやすくよかった。とくに林先生がおっしゃっていた私語がなくても「だまっている」＝参加していない、という問題があることを改めて認識できたことは、意義深かった。	
みなさんのいろいろな方法を、学生の顔をうかべながらきかせてもらいました。	
3人3様の方向で、いろいろな場面を想定できて良かった。	
質疑応答の必要な方だけお残りになれば良いと思います。	
質疑のない者には、ストレスです。	
松本先生の発表がおもしろかった。毎回の復習のさせ方、席の決め方、発問やそのあて方など、小物の使い方はおもしろいし効力ありそうです。教師の努力が伝わってきました。	

貴委員会、学長先生はじめ多くの先生方が取り組んでおられる少人数(本日の林先生のプレゼン「規定で40人1クラスとなっている食物栄養では私語がない!!!」というのは注目すべき事実と考えます。)双方向の授業と矛盾?する本学の動き(少人数ではなく座学は1クラスで200名まで!?)の学生への教育効果についても十分議論頂ければ幸いです。
他学科の貴重な情報が得られた。受講人数などの授業環境の相違が学科間で大きいことも知ることができ、大変興味深かったし参考になりました。ありがとうございました。
お一人15分間のご発表はどうも無理がある(ほぼ皆さん時間オーバーされる)ようなので、もう少しお一人の発表時間を増やして(20分程度)、1回につきお二人ぐらいにしてはどうでしょうか。全体を1時間くらいにさせていただくとより参加しやすいように思います。
学生が授業に集中、効果が上がるように先生方が工夫されている様子、楽しく拝聴させて頂きました。 笑顔でリズム感ある授業は大切です。 「授業は教員と学生で作るもの」賛同です。
いろいろと工夫されているのを聞いて参考になりました。

4. 今後の希望(抜粋) 13件

特になし
授業評価の高い先生の授業風景をVTRでよいから見てみたい。
ワークショップ等の形態での意見交換の場があればいいですね。
大学授業研究会がいつまで続くのか時々心配になる。というのも、これまで多くの先生がそれぞれすばらしい報告をされているので、自分に順番が回ってきたら何を話して良いのか、これまでの報告内容と同じような内容の繰り返しになるのではないかと感じてしまう。すなわち、オリジナリティを出せそうになく、心配。
授業参観を許可されている先生のリストがあれば、私もオブザーヴさせていただきたいと思います。
MMホールにて、合同教授会のあとにFD研究会を開催することは、基本的にはよいと思います。(ただし、教授会が長びくと、少々くたびれますが…)
もっと事例紹介があればよいと思いました。 なかなか時間がつくれなくて、来聴できない事もあり残念に思うほどでした。
引き続き、今日のような研究会開催を期待します。
プレゼンスライドのコピーを何でもいから、Muses/ μ canからとれるようにしてほしい。
何回かお聞きしておりますとお話が重複してまいります。今後もこの調子で進められますか。
私語はないけど寝ている学生にはどう対する。(これも興味関心がたらないのでしょうか。)いろんな工夫例を短くまとめたネタ本が欲しい。
「私語がない」という観点から「教育効果が高いかどうか」という観点へ移行していった頂ければと考えます。
やる気のない学生、クラスをどのようにすればよいのか、対応すべきか教えていただけたら(事例など)嬉しいです。

5. 所属

日文
英文
教育
健スポ
心福
環境
食物
情報
建築
音楽
薬学
共通
教研
事務
未回答
計

0
7
1
3
4
3
1
0
1
2
2
0
0
1
3
28

